

# 平成26年9月 全国百貨店売上高概況

平成26年10月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,406億円余
2. 前年同月比	-0.7% (店舗数調整後/6か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	84社 240店 (平成26年8月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,135,461㎡ (前年同月比:-1.6%)
5. 総従業員数	78,731人 (前年同月比:-2.8%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	2-4月 6.5%、3-5月 4.1%、4-6月 -6.9%、 5-7月 -3.7%、6-8月 -2.6%、7-9月 -1.3%

[参考] 平成25年9月の売上高増減率は2.8% (店舗数調整後)

### 【9月売上の特徴】

前年に比べ日曜日が一日少なかった影響から6か月連続のマイナスとなったが、減少幅は-0.7%とほぼ前年並みの水準で推移しており、休日減少分を勘案すれば実質プラスであることから、消費税率引上げによる駆け込み需要の反動は和らいできている。

本年9月は、中旬までの気温低下で、主力商材である秋冬物の衣料品(+0.6%)が良く動き、消費税率引上げ後初めて前年をクリアするなど好調に推移していたが、下旬からは月末の台風(16号)の影響などもあって伸び悩み、最終的には前年実績を僅かに下回る結果となった。これにより1月-9月累計売上高は、4兆4,652億円余(前年同期比:店舗数調整後+1.1%/店舗数調整前+0.7%)となった。

地区別では、前月プラスになった大都市(10都市:-0.2%)が当月は僅かに前年割れしたほか、地方(10都市以外:-1.8%)も6か月連続のマイナスであったが、4月以降の反動減は月を追う毎に改善(10都市以外:4月-13.6%、5月-5.4%、6月-6.6%、7月-4.9%、8月-1.9%)してきている。

商品別には、主力の衣料品が紳士(+2.7%)・婦人(+0.2%)共に前年をクリアし好調に推移したほか、活況が続く化粧品(+3.8%)も3か月連続でプラスとなった。4月に反動減が大きく出ている美術・宝飾・貴金属(-2.8%)の回復ぶりが注目される一方、身のまわり品(-1.0%)や食料品(-1.7%)についても休日減少分を修正すれば前年並みの水準と分析できる。

訪日外国人売上高は、中華圏(中国、台湾等)とアセアン(タイ、シンガポール等)を中心に、売上高(+58.2%)・購買客数(+57.2%)共に大幅増となり、9月として過去最高の売上高(47億円余)を記録すると同時に、1月-9月累計(424億円余)で前年の年間実績(384億円余)を上回った。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 上旬は前線の影響で太平洋側で曇りや雨の日が多かった。中旬は北日本と西日本では低気圧や前線の影響で天気が崩れる日が多く、東日本と東北では高気圧に覆われる日が多かった。下旬は概ね好天に恵まれた。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比+0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日( " -1日/日曜1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数133店舗)

①増加した:31店、②変化なし:40店、③減少した:62店

(5) 9月歳時記(敬老の日、秋分の日/お彼岸)の売上(同上/有効回答数100店舗)

①増加した:16店、②変化なし:70店、③減少した:14店

# 全国百貨店 売上高速報 2014年09月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全国</b>	<b>440,679,401</b>	<b>100.0</b>	<b>-0.7 ( -0.8)</b>
<b>10都市</b>	<b>297,906,734</b>	<b>67.6</b>	<b>-0.2</b>
札幌	11,425,215	2.6	-3.7
仙台	6,246,323	1.4	-4.6
東京	111,888,157	25.4	0.5
横浜	25,842,513	5.9	-1.3
名古屋	28,979,774	6.6	2.8
京都	17,960,814	4.1	-8.8
大阪	60,647,442	13.8	2.7
神戸	11,227,062	2.5	-1.0
広島	9,510,910	2.2	-2.6
福岡	14,178,524	3.2	-2.0
<b>10都市以外の地区</b>	<b>142,772,667</b>	<b>32.4</b>	<b>-1.8 ( -2.2)</b>
北海道	2,490,124	0.6	-3.6
東北	7,424,272	1.7	-2.9
関東	68,886,391	15.6	-1.7 ( -1.5)
中部	10,766,061	2.4	0.4
近畿	14,151,201	3.2	-2.4
中国	9,984,323	2.3	-2.4
四国	7,265,598	1.6	0.1 ( -8.2)
九州	21,804,697	4.9	-2.6

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>440,679,401</b>	<b>100.0</b>	<b>-0.7 ( -0.8)</b>
紳士服・洋品	27,473,508	6.2	2.7 ( 2.6)
婦人服・洋品	103,231,877	23.4	0.2 ( 0.0)
子供服・洋品	9,937,942	2.3	-1.5 ( -1.7)
その他衣料品	11,301,121	2.6	0.3 ( 0.1)
<b>衣 料 品</b>	<b>151,944,448</b>	<b>34.5</b>	<b>0.6 ( 0.4)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>59,165,105</b>	<b>13.4</b>	<b>-1.0 ( -1.1)</b>
化粧品	28,530,843	6.5	3.8 ( 3.7)
美術・宝飾・貴金属	24,355,860	5.5	-2.8 ( -3.1)
その他雑貨	17,683,327	4.0	-2.9 ( -3.1)
<b>雑 貨</b>	<b>70,570,030</b>	<b>16.0</b>	<b>-0.2 ( -0.4)</b>
家具	5,618,638	1.3	-8.2 ( -8.3)
家電	1,050,215	0.2	-8.4 ( -8.4)
その他家庭用品	14,598,129	3.3	-1.2 ( -1.2)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>21,266,982</b>	<b>4.8</b>	<b>-3.5 ( -3.6)</b>
生 鮮 食 品	24,192,903	5.5	-3.0 ( -3.0)
菓 子	28,222,373	6.4	-0.7 ( -0.8)
惣 菜	26,349,401	6.0	-1.1 ( -1.0)
その他食料品	31,745,583	7.2	-2.1 ( -2.1)
<b>食 料 品</b>	<b>110,510,260</b>	<b>25.1</b>	<b>-1.7 ( -1.7)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>13,612,930</b>	<b>3.1</b>	<b>-3.0 ( -3.1)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>5,279,758</b>	<b>1.2</b>	<b>-2.0 ( -2.0)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>8,329,888</b>	<b>1.9</b>	<b>-0.2 ( -0.2)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>9,932,423</b>	<b>2.3</b>	<b>-1.1 ( -1.1)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | -0.2% (2か月ぶりマイナス)        |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.8% (店舗数調整後/6か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>-0.2</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
札幌	-3.7	-0.1	6か月連続マイナス
仙台	-4.6	-0.1	6か月連続マイナス
東京	0.5	0.1	2か月連続プラス
横浜	-1.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
名古屋	2.8	0.2	6か月ぶりプラス
京都	-8.8	-0.4	6か月連続マイナス
大阪	2.7	0.4	3か月連続プラス
神戸	-1.0	0.0	2か月ぶりマイナス
広島	-2.6	-0.1	6か月連続マイナス
福岡	-2.0	-0.1	2か月ぶりマイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-1.8</b>	<b>-0.6</b>	<b>6か月連続マイナス</b>
北海道	-3.6	0.0	6か月連続マイナス*
東北	-2.9	-0.1	6か月連続マイナス*
関東	-1.7	-0.3	6か月連続マイナス
中部	0.4	0.0	6か月ぶりプラス
近畿	-2.4	-0.1	6か月連続マイナス
中国	-2.4	-0.1	6か月連続マイナス*
四国	0.1	0.0	2か月連続プラス
九州	-2.6	-0.1	6か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、衣料品が6か月ぶりにプラスとなった。また、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品はマイナスとなった。婦人服・洋品、その他衣料品が6か月ぶりのプラス、化粧品が3か月連続、紳士服・洋品が2か月連続のプラスとなった。その他では、先月より美術・宝飾・貴金属と家具のマイナス幅が縮小した。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-0.7</b>	<b>-</b>	<b>6か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	2.7	0.2	2か月連続プラス
婦人服・洋品	0.2	0.1	6か月ぶりプラス
子供服・洋品	-1.5	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	0.3	0.0	6か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>0.6</b>	<b>0.2</b>	<b>6か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-1.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
化粧品	3.8	0.2	3か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-2.8	-0.2	6か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.9	-0.1	2か月ぶりマイナス*
<b>雑貨</b>	<b>-0.2</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
家具	-8.2	-0.1	6か月連続マイナス
家電	-8.4	0.0	3か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-1.2	0.0	2か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-3.5</b>	<b>-0.2</b>	<b>6か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-3.0	-0.2	6か月連続マイナス*
菓子	-0.7	0.0	4か月連続マイナス*
惣菜	-1.1	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-2.1	-0.2	6か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-1.7</b>	<b>-0.4</b>	<b>6か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-3.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>6か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-2.0</b>	<b>0.0</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-0.2</b>	<b>0.0</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-1.1</b>	<b>0.0</b>	<b>43か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>